



一年を振り返って

熊本県立菊池農業高等学校同窓会

緑水会会長 松本隆幸



熊本地震から八ヶ月、地震・豪雨・猛暑そして阿蘇山の爆発的噴火と大自然の猛威を、まざまざと見せつけられた一年でした。誰も予想もしなかった四月十四日夜の前震、十六日未明の本震は日本地震史上異例の連鎖地震を起し、震度七を二回も観測しました。激しい揺れは身の危険を感じるほどのものでした。大地の亀裂や陥没、道路・橋・建物の崩壊により尊い命を奪い県人口の一割に当たる十八万人もが避難生活を強いられました。亡くなられた御霊のご冥福をお祈りし被災された皆様方に心から御見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧、復興が進み元の生活に戻れることを祈念いたし



修復された創立百周年記念碑

ます。学校でも創立百周年記念事業の一つとして建立された正門横の記念碑が崩れ修復を行いました。緑水会では役員研修として昨年は熊本農業高校同窓会を訪問し今年には地元菊池高校同窓会（菊朋会）を訪ね、会の組織運営活動について意見交換を行いました。両校とも創立百周年を過ぎ長い歴史の中に特色のある教育を行い多くの人材を世に送り出してきました。菊池は昔から文教菊池として教育に熱心な土地柄のなかに学問の普及に努めその基礎を築いてきました。しかし何時の頃からか菊池市内の中学校を卒業した生徒達の約六割が市外の高校へ入学し両校とも定員割れの状況が続いております。高校再編の動きの中に菊池市にとって大変憂慮すべき問題だと考えます。行政・学校・地域社会が一体となって菊池を支えていく若い力の育つ魅力的な環境をつくっていくことが重要ではないでしょうか。会員の皆様方の母校への入学志願者の啓蒙活動へご協力をお願いしたいと思います。

次いで緑水会の活動状況について報告いたします。十月二十三日西原村肥後サンバレーカントリークラブにおいて恒例となりましたゴルフコンペを実施しました。また、十一月十三日菊農フェスタに合わせグラウンドゴルフ大会を行い総数約百名の参加をいただき同窓の思いを大切



開放祭：緑水会ブース

編集・発行 熊本県立菊池農業高校同窓会事務局 TEL 0968-38-2621 題字：越猪忠祐 (同窓会顧問) http://www.higo.ed.jp/sh/kikuno/ 印刷 株式会社 かもめ印刷

に和気あいあいのなかに交流を深めることが出来ました。来年も会員お誘い合わせの上、御参加をお待ちしております。

一方母校においては畜産科学科三年生の益崎裕朗君が全国の大学生、高校生を対象とした「第十回全農学生酪農の夢コンクール」で作文が最優秀賞に選ばれました。また園芸科二年生の吉永翔司君が岩手国体、少年馬術の部で優勝されました。二人とも日本の輝かしい成績を収められましたことは菊農の誇りであります。心からお慶び申し上げます。生き生きと活躍する菊農生の姿をもっと地域に発信していこうとグラウンド入口の国道三八七号線沿いに看板を建てました。目に止めていただければ有難いです。



舞子高校との交流会（花房寮にて）

終わりに国の基である農業は人々が生きていく上で欠かすことのない食料の生産、国土の環境保全として人間の心を癒してくれる大切な役割を果たしております。菊池農業高校は今後も文部科学省の経営者育成校として日本農業を支えていく人材が数多く羽ばたいてくれることを願いながら母校の益々の発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈願申し上げます。

菊農創立百三十三年を迎えて



校長 松本 弥

本年度は創立百三十三年目を迎え、生徒と共に「自然災害の恐ろしさ」と「生きる力」の必要性を再認識することとなりました。昨年四月に発生しました「熊本地震」は今もなお大きな爪痕を残しています。緑水会会員の皆様におかれましても、被害を受けられ心からお見舞い申し上げます。菊農創立以来使用してまいります校舎は、耐震化が施されており、ひび割れ等はあったものの花房台地にしっかりと立ち、花房寮と同様に生徒たちが元気に生活をしております。農場は、ガラス温室を中心に破損箇所がありました。修復され各科の学習の場として実験・実習が行われています。多くの先輩方にご心配いただき、心から感謝いたします。熊本地震の復旧支援に兵庫県立舞子高校環境防災科の生徒、職員の皆さんが六月十四日から二十五日まで花房寮に宿泊され、熊本市や益城町で活動されました。本校生徒との交流などを通して防災意識の

向上につながったと思います。またこのことが縁で、兵庫県で開催された平成二十八年全国防災ジュニアリーダー育成合宿に生徒二名職員一名が参加でき防災教育推進の基礎となりました。このような平成二十八年度ではありましたが、明るい話題もありました。まず最初に、全農「酪農の夢」コンクールに畜産科学科三年の益崎裕朗君が「地域の酪農リーダーを目指して」と題して応募した作品が、全国百三十六作品中、最優秀賞を受賞し、酪農後継者としての自分の夢を今後実現していくと思っております。次に二〇一六希望郷いわて国体馬術競技において、園芸科二年吉永翔司君が少年ダービー競技で見事優勝を勝ち取りました。また、陸上部が熊本県高等学校駅伝大会女子の部に初出場し、菊農の新たな歴史を作ることもできました。その他にも農業クラブの活動として大阪府で開催された農業クラブ全国大会農業鑑定競技の部でも食品化学科三年佐々木博基君が三年連続優秀賞を受賞し活躍してくれました。今年も地域との連携がますます活発となり、農業科の取組として昨年十一月に菊池市で開催された「第十八回米・食味分析鑑定コンクール・世界大会」に出品したことや毎年恒例となったJA菊池との連携で実施している「JA菊池まんまキッズスクール」では、農業体験の場として農場を開放し、園芸科・畜産科学科・食品化学科の生徒が小学生に各専門についての技術指導を行い、人に教えることの難しさを体験し成長したと思

います。生活文化科では、「秋の高校生道の駅弁フェア」において、生徒が「地域の食材を使った秋の行楽弁当」をテーマに考案したお弁当が販売され大盛況でした。こ



生活文化科：秋の高校生道の駅弁フェア

の他にも校内外で数多くのボランティア活動に参加するなど、生徒の活躍がますます見える年になったと思います。その他、四年目の取り組みとして、蒼生会の皆様を始め先輩の農家に泊まり込んでの現場実習では、先輩方の農業に対する熱い思いを伝えていただき、生徒と共に改めて日本農業の継承者として頑張る覚悟を決意したところです。

また、平成二十八年十一月十三日に行われた菊農フェスタでは、今年も本校農場の隣にある熊本ダイキウ運輸株式会社様のご厚意によりお借りした10トトラックの荷台を特設ステージに仕立て、生活文化科生徒によるファッションショーや吹奏楽部演奏、太鼓部による演奏・書道部による書道パフォーマンスなどに加え、アジリティー広場では「犬とのふれあい」が行われ好評でした。また、乗馬体験や牛の乳搾り体験など菊農の



生活文化科：ファッションショー



書道部：フェスタでのパフォーマンス



畜産科学科：牛の乳搾り体験

特色ある教育力を生かした取り組みもあり、大盛況のうちに終了することができました。また、例年OBの方々の御協力をいただき農産物の販売も開催することが出来、関係各位には心から感謝申し上げます。平成二十五年から始めました農場開放祭に合わせた緑水会主催のグラウンドゴルフ大会にも多くの先輩方にご来校願ひ後輩の活動を見ていただき嬉しく思います。毎年全ての教育活動において緑水会会員の皆様から温かい御支援・御協力を賜り誠にありがとうございます。生徒、職員を代表いたしました御礼申し上げます。最後に私事となりますが、平成二十八年度末に退職いたします。親子二代に渡り菊池農業高校（菊池農産高校）に勤務させていただきました。誠にありがとうございました。緑水会の更なるご発展と菊池農業高校へのお力添えをお願い申し上げます。あいつ並びにお礼いたします。

人を思い 農を考える

佐々木 浩一



菊池渓谷を見下ろす、標高四百五十mの高原。そこに私達の農園があります。思い起こせば二十八年前、この地で自立経営農家として生き残り、後継者に受け継いでいける農園を作ろうと思い、そしてまた、地域に貢献できる作物をと考え、模索しました。そしてブドウにたどり着きました。

「幸せを感じるブドウ作りで幸せの味を送り届けたい」を合言葉に、一本一本苗を植栽した事がまるで昨日の様に感じます。今日まで幾度となく春一番の風や、台風等の自然災害、あるいは猪、カラスなどの有害鳥獣の被害を受け心が折れそうになった事もありました。しかし沢山の人の支えられ、ピンチはチャンス、と自分に言い聞かせて続ける事ができました。今では、防風・防虫対策も完備し消費者の皆様へ高品質の品を安定供給出来る様になり、また学校給食への納品も長期に渡り続けてくるこ



佐々木さんご夫妻

とができました。現在十四品種ある当園のブドウは直売所で全て販売しています。キーワードは「お客様に感動を」です。顧客の九割以上がリピーターです。二十年以



幸せ味の葡萄

上続くお客様もおられます。二代に渡りご来店頂くお客様もおられます。「甘い」とか「おいしい」という言葉はよく頂きますが、「このブドウに出会えて幸せです。」という言葉を頂いたり、四歳位の男の子が口いっぱいブドウをほおばりながら「お母さん幸せ」と満面の笑みで話しかけている姿を見る事もあり感動します。食べ物食べて「幸せ」という表現が自然に出来る。そんな家庭がどん

どん増えたらいいな！それが私たち農園スタッフ全員の思いであり私たちの考える食育の形です。人の味覚は幼少期に決まってしまうと言われています。そのため、特に子供の頃の体験が重要と考えています。収穫期以外にもブドウの栽培過程を見に来てもらう活動も行っています。食育を通じて若い世代への農業理解促進に重点的に取り組んでいます。また給食の時間



ファミリー

間に学校に出向き子供たちに説明をする活動も行っています。私達にとっても出荷したら終わり、ではなく、食べてもらっている現場を観察し、意見を聞き、これは大変重要な事です。今私達が考えていることは「地産地消」から「知産知消」へです。開園して二十八年、今私達は「伝える事」を大事に思っています。



自然の家での研修

◆平成28年 会務報告◆

- 2/4 役員会前打合せ 畜産科学科
2/10 第1回役員会 農場センター 6名参加
2/12 役員会欠席者説明会
2/15 緑水会役員会総会案内状(往復葉書142枚)を送付
2/18 上田農業賞表彰: 菊池市重味訪問(佐々木浩一氏) 4名参加
2/23 同窓職員へ資料配付、今後の日程等について説明
2/28 緑水会入会式打合せ 畜産科学科
2/29 緑水会入会式 校長室5名参加 終了後、会食
平成27年度 会計監査(早川・原監査員) 御手洗監査員(3/3) 畜産科学科で監査
3/1 第52回卒業式 本校体育館 5名参加
3/4 第3回熊本県立農業関係高校同

- 窓会会長連合会打合せ 3/11
緑水会役員会総会用、資料作成 3/12
緑水会役員会総会 寿し廣 33名参加
懇親会 33名参加
4/11 平成28年度入学式 本校体育館
4/20 100周年記念碑(校門前) 破損... 松本会長視察
4/22 打合せ...熊本地震のため延期
4/24 植木支会総会出席 植木
5/26 第1回役員会打合せ 農場センター 7名参加
6/9 育友会との話し合い 校長室 6名参加
6/10 蒼生会総会出席 寿し廣
7/8 看板の件(業者見積り) グリーンロード等見学
8/19 緑水会看板設置①(園芸科入口... 馬術全国大会出場)
9/6 就農プログラム&進路ガイダンス 本校体育館、農場センター 蒼生会関係者9名参加

- 9/23 緑水会看板設置②(国道387号グラウンド側、ファミリーマート向かい側)
10/2 菊池農業高等学校体育大会
10/11 第2回役員会 農場センター 5名参加
10/17 菊池農蚕学校慰霊碑の追悼式
菊池高校テニスコート前 5名参加
10/14 熊本県立農業関係高校同窓会会長連合会第2回開催 メルパルク熊本 2名参加
10/23 緑水会ゴルフ大会 肥後サンパレーカントリークラブ 37名参加
11/13 第5回グラウンドゴルフ大会(菊農フェスタ開催時) 32名参加
11/8 緑水会視察研修(菊池高等学校菊朋会) 7名参加
反省会 寿し廣

平成28年3月卒業生進路先一覧

Table with columns: 専攻科, 進路先 (自営, 就職, 進学, その他), 合計. Total graduates: 142.

平成28年3月4日現在

主な進学先

- 4年制大学
鹿児島大学・酪農学園大学・県立大学・東海大学・熊本学園大学・放送大学等
●短期大学、専門学校
県立農大・中四国酪農大・尚絅短大・宮崎学園短期大学・九州美容専門学校・中村調理師専門学校・熊本YMCA学院等

主な就職先

- ココファーム・フジチク・弘乳舎・熊本畜産流通センター・熊本蛋白ミール・ノーザンファーム・マルキン食品・フランソア・山崎製パン・JA菊池・熊本セントラル病院等